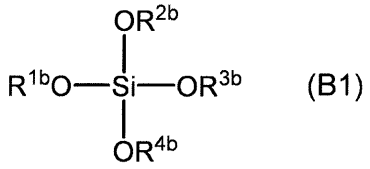
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】令和7年6月23日(2025.6.23)

【公開番号】特開2024-19950(P2024-19950A)
【公開日】令和6年2月14日(2024.2.14)
【年通号数】公開公報(特許)2024-028
【出願番号】特願2022-122744(P2022-122744)
【国際特許分類】
Ｄ０６Ｍ２３/１２(２００６.０１)
Ｄ０６Ｍ１１/７９(２００６.０１)
Ｄ０６Ｍ１３/３２８(２００６.０１)
Ｄ０６Ｍ１３/４６３(２００６.０１)
Ｄ０６Ｍ１３/５０７(２００６.０１)
【ＦＩ】
Ｄ０６Ｍ ２３/１２
Ｄ０６Ｍ １１/７９
Ｄ０６Ｍ １３/３２８
Ｄ０６Ｍ １３/４６３
Ｄ０６Ｍ １３/５０７

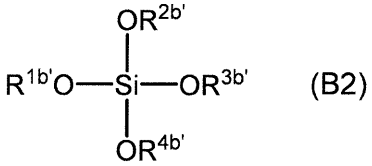
【手続補正書】
【提出日】令和7年6月13日(2025.6.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記（ａ）成分、（ｂ）成分、（ｃ）成分を含有する繊維製品処理組成物。
（ａ）シリカを含むシェルと該シェルの内部に香料化合物を含むコアとを有するマイクロカプセル。
（ｂ）アルコール系香料又はフェノール系香料とケイ酸とのエステルからなる香料前駆体。
（ｃ）下記（ｃ１）成分、及び（ｃ２）成分から選ばれる１種以上を含む成分。
（ｃ１）成分：下記一般式（１）で表される第３級アミン化合物、及びその酸塩。
（ｃ２）成分：下記一般式（１）で表される第３級アミン化合物の４級化物。
〔R^{1c}－Ｃ（＝Ｏ）－Ｏ－（$C_pH_{2p}O$）$_r$－C_qH_{2q}〕$_m$Ｎ（R^{2c}）$_{3-m}$
（Ｃ１）
〔式中、R^{1c}は炭素数１１以上２３以下の炭化水素基であり、R^{2c}は炭素数１以上３以下の炭化水素基及びＨＯ－（$C_pH_{2p}O$）$_r$－C_qH_{2q}基から選ばれる基であり、ｍは１以上３以下の整数であり、ｐ及びｑは２又は３の数であり、ｒは０以上５以下の整数である。同一分子内にR^{1c}、R^{2c}、ｐ、ｑ、ｒが複数存在する場合、それらは同一でも異なっていてもよい。〕
【請求項２】
（ａ）成分が、シリカを含むシェル(第二シェル)と該シェルの内部に香料化合物を含むコア及び該コアを内包するシリカを含むシェル(第一シェル)とを有するマイクロカプセルである、請求項1に記載の繊維製品処理組成物。
【請求項３】

前記（ａ）成分のマイクロカプセルのメジアン径Ｄ$_{50}$が、０．１μｍ以上５０μｍ以下である請求項１または２に記載の繊維製品処理組成物。
【請求項４】
（ａ）成分のマイクロカプセルの前記シェルが、アルコキシシランを前駆体とした重合反応により形成されてなるものである、請求項１または２に記載の繊維製品処理剤組成物。
【請求項５】
（ｂ）成分が一般式（Ｂ１）
【化１】



(B1)

（ここでＲ^{1b}、Ｒ^{2b}、Ｒ^{3b}及びＲ^{4b}のうち１個以上４個以下は、アリル位の炭素原子に水酸基を有し、該炭素原子が第１級炭素原子または第２級炭素原子である、香料として用いられるアルコール化合物から水酸基を除いた残基であり、残りが独立に、水素原子又は置換基を有していてもよい炭素数１以上３０以下の炭化水素基（但し、香料として用いられるフェノール化合物からフェノール性水酸基を除いた残基を除く）である。）
及び／または一般式（Ｂ２）
【化２】



(B2)

（ここでＲ$^{1b'}$、Ｒ$^{2b'}$、Ｒ$^{3b'}$及びＲ$^{4b'}$のうち１個又は２個は、香料として用いられるフェノール化合物からフェノール性水酸基を除いた残基であり、残りが独立に、水素原子及び／又は置換基を有していてもよい炭素数１以上３０以下の炭化水素基（但し、香料として用いられるフェノール化合物からフェノール性水酸基を除いた残基を除く）である。）
である請求項１に記載の繊維製品処理組成物。
【請求項６】
更に（ｄ）成分として（ａ）成分以外の香料化合物を含有する請求項１に記載の繊維製品処理組成物。